

業界イメージレポート

－居酒屋編－

業界イメージレポート－居酒屋編－ とは

「業界イメージレポート」は、特定の業界に対してもっているイメージについて、個人側と企業側に調査した結果をまとめています。本レポートは中でも、飲食業界の居酒屋を対象としたものです。

個人側は4セグメントに分かれます。現在就業している「A. 就業者」、過去に就業経験がある「B. 離職者」、居酒屋での就業経験はないが就業に興味関心はある「C. 意向者」、居酒屋での就業経験がなく就業に興味関心もない「D. 非意向者」です。企業側は店長以上の役職の方を対象としています。

居酒屋（飲食）業界全体に共通する魅力、もっと高められる魅力を理解する手がかりとしてご活用ください。

【目次】

回答者プロフィール	2
A. 就業者と企業側	3
正社員と正社員以外	5
B. 離職者と企業側	7
C. 意向者とD. 非意向者	9

調査概要

- ・調査名：特定業種に関する調査
- ・調査目的：求人と求職の需給ギャップがある特定業種における、労働者側と企業側双方の実態を把握し、今後解決策を模索する上での基礎資料とすること。
- ・調査方法：インターネット調査（クロス・マーケティング社モニター利用）
- ・調査期間：2015年3月25日（水）～3月29日（日）
- ・調査対象：20～59歳までの男女（全国）
 - 個人側
 - －現在、対象業種に従事している人
 - －過去に対象業種に従事したことがある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がない人
 - 企業側
 - －現在、対象業種に勤務しており、職位が管理職（店長）・経営層、かつ人事（採用）または総務業務を担当している人

セグメントごとの回答者数は下の表のとおり。本レポートの対象は居酒屋の、計892人。

		個人側				企業側
		就業経験者		就業非経験者		
		A. 就業者	B. 離職者	C. 意向者	D. 非意向者	
飲食店	ファーストフード	102	368	200	200	30
	居酒屋	118	337	200	200	37
介護サービス		188	186	200	200	142
ドライバー		195	188	200	200	141

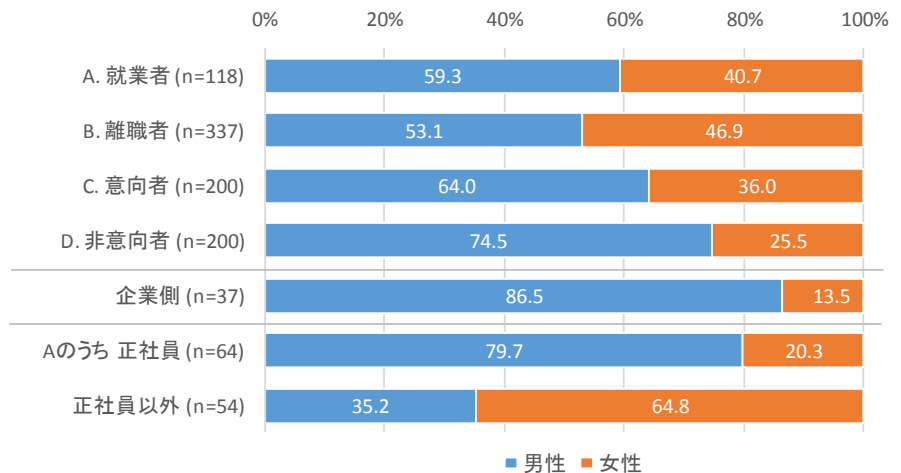
※ なお、四捨五入の関係で数表内の%の合計が100とならない場合がある。

回答者プロフィール

■ 性別

回答者の性別分布は、右のグラフのとおり。A.就業者、B.離職者ともに5割以上が男性、女性は4割程度。企業側は男性が8割以上を占める。

Aのうち正社員※1では、8割程度が男性、正社員以外※2では6割以上が女性。

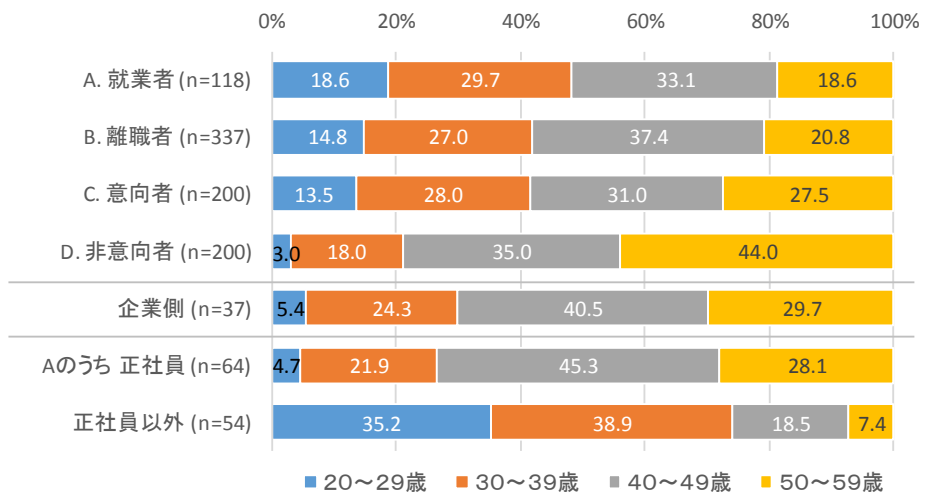


■ 年齢

回答者の年齢分布は、右のグラフのとおり。

A.就業者は20代と50代が同程度だが、D.非意向者は50代が多い。

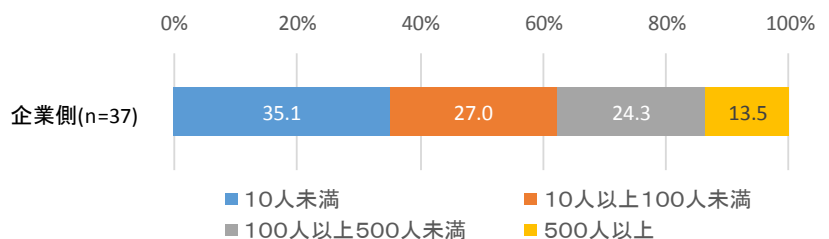
企業側は役職者ということもあり40代以上の割合が高く、就業者、特に正社員以外は20代・30代が比較的多い。



■ 従業員規模

企業側の勤務先従業員規模は、右のグラフのとおり。

10人未満が35.1%と、少人数で経営している居酒屋が多いことがわかる。一方で、500人以上という企業も13.5%ある。



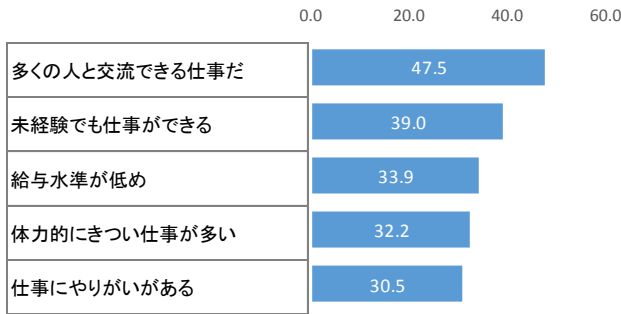
※1自営業者等を少数含む。

※2パート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。なお、正社員以外のうち学生アルバイトは3.9%。

業界イメージ 1 A. 就業者と企業側

A. 就業者の上位5項目

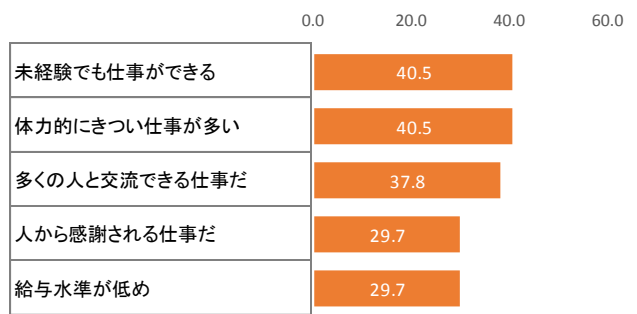
「多くの人と交流できる仕事だ」が47.5%で最も高い。「給与水準が低め」「体力的にきつい仕事が多い」などネガティブなイメージもあるが「仕事にやりがいがある」といったポジティブなイメージも上位になっている。



(%, n=118)

企業側の上位5項目

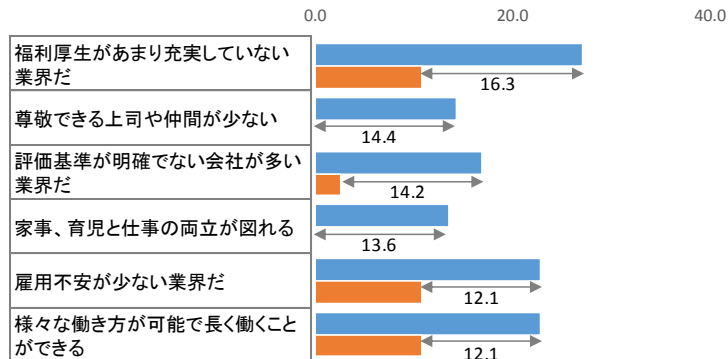
「未経験でも仕事ができる」と「体力的にきつい仕事が多い」が40.5%で最も高い。「人から感謝される仕事だ」以外は就業者の上位項目と共通している。



(%, n=37)

A. 就業者と企業側のギャップが大きい5項目

いずれも就業者の方があてはまると回答しているもので、「福利厚生があまり充実していない業界だ」のギャップが最も大きい。働き方については「家事、育児と仕事の両立が図れる」「様々な働き方が可能で長く働くことができる」と企業側よりもポジティブなイメージである。

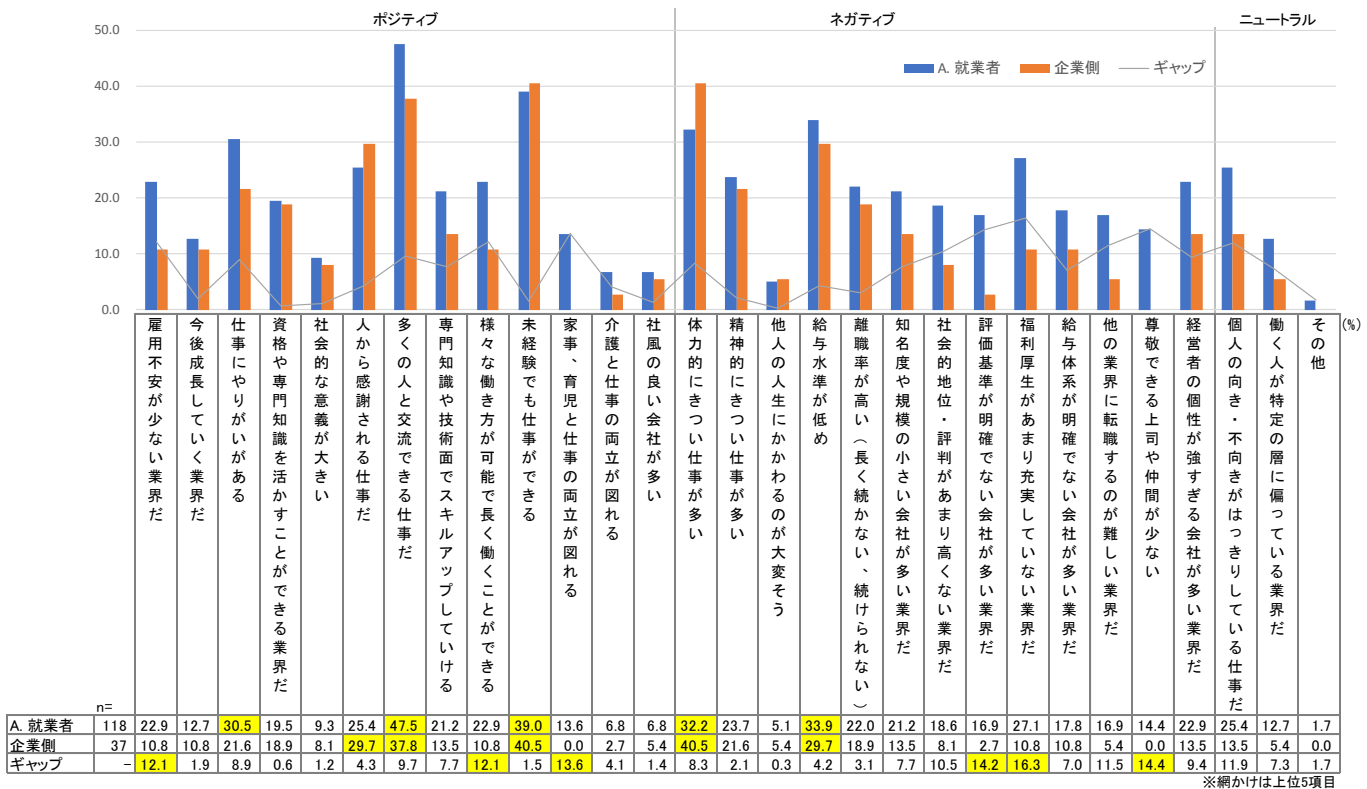


■ A. 就業者 ■ 企業側 (%)

A. 就業者と企業側

【A. 就業者】 Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／飲食サービスの仕事（居酒屋（接客や調理））（MA）

【企業側】 Q. あなたがお勤めの会社や、お勤めの業界のイメージとして、世の中の人や求職者に、どのように思われていると思いますか。あてはまると思われるものをお選びください。（MA）



居酒屋（飲食）業界についてどのようなイメージをもっているか、現在居酒屋で働いている就業者と、企業側に聞いた。

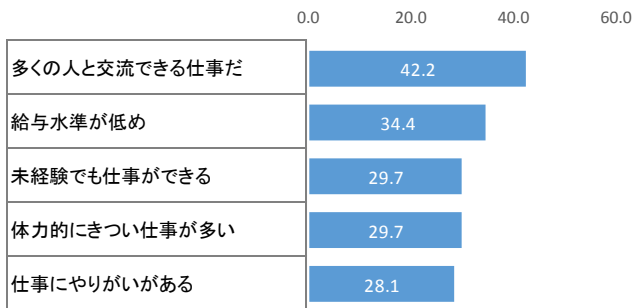
就業者は「多くの人と交流できる仕事だ」が47.5%でもっとも高いが、「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」といったネガティブなイメージも上位に挙げられた。

企業側は「未経験でも仕事ができる」と「体力的にきつい仕事が多い」がともに40.5%でもっとも高い。これらの項目は就業者も上位に挙げており、ギャップは小さい。働き方については、就業者の方が「様々な働き方が可能で長く働くことができる」「家事、育児と仕事の両立が図れる」をあてはまると回答しており、ギャップがみられる。

業界イメージ 2 正社員と正社員以外（A. 就業者）

正社員の上位5項目

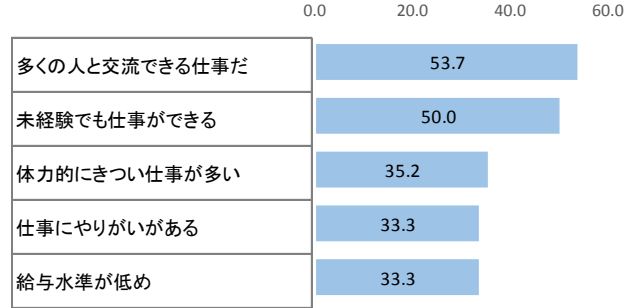
「多くの人と交流できる仕事だ」が42.2%で最も高い。次いで「給与水準が低め」「未経験でも仕事ができる」などとなり、就業者全体と上位5項目は共通している。



(%, n=64)

正社員以外の上位5項目

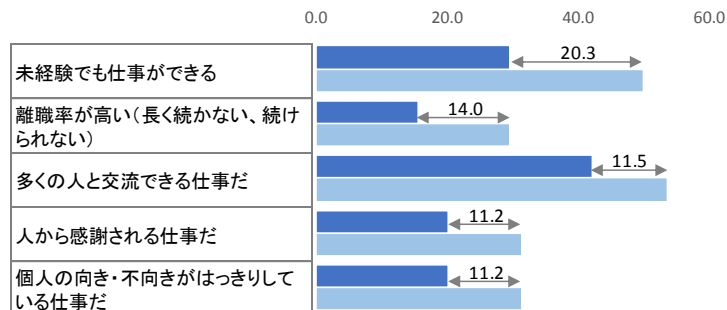
上位5項目と、「多くの人と交流できる仕事だ」が最も高い点は、正社員と共通している。「仕事にやりがいがある」は33.3%と正社員よりも高い。



(%, n=54)

正社員と正社員以外のギャップが大きい5項目

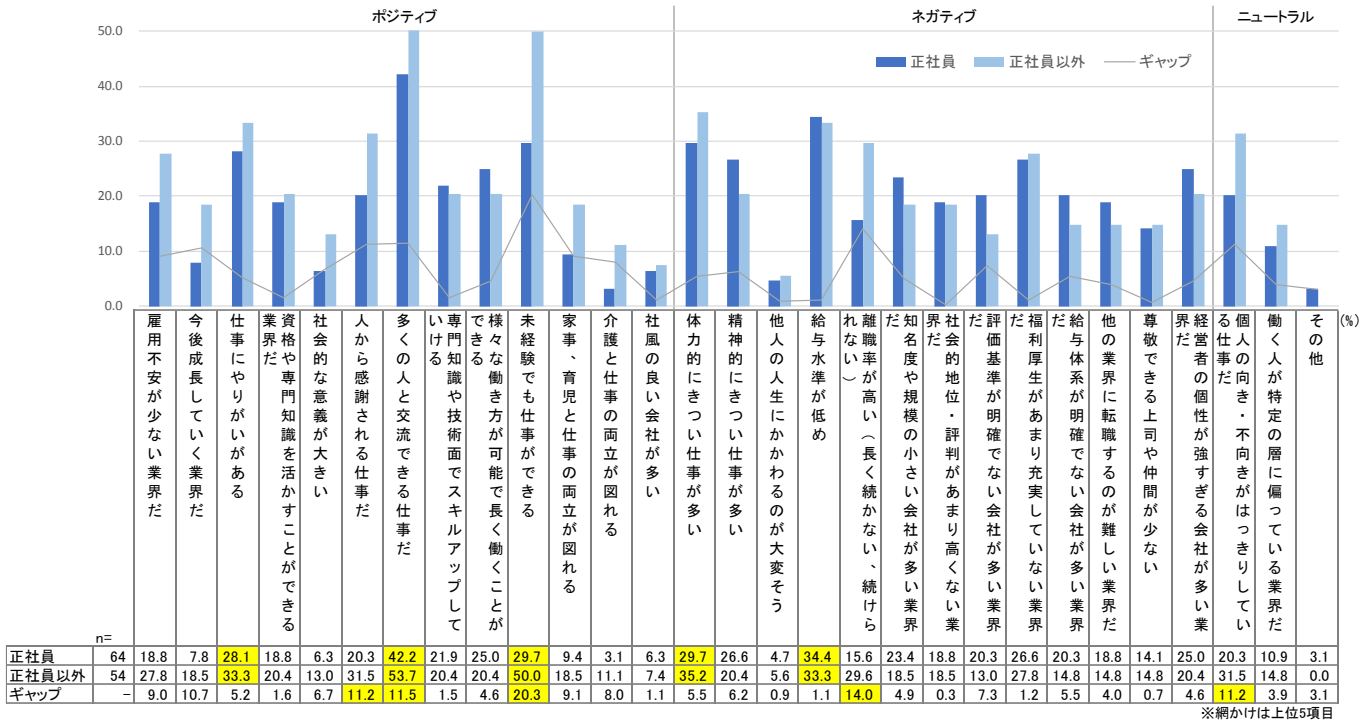
「未経験でも仕事ができる」は正社員、正社員以外どちらでも上位に挙げたが、正社員以外の方があてはまると回答した割合が高く、ギャップは最も大きい。以下、いずれの項目も正社員以外の方があてはまると回答している。



■ 正社員 ■ 正社員以外 (%)

正社員と正社員以外（A. 就業者）

【A. 就業者】 Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／飲食サービスの仕事（居酒屋（接客や調理））（MA）



正社員※と正社員以外に分けて見てみよう。（※自営業者等を少数含む。）

正社員と正社員以外ともに、上位5項目はまったく同じであった。「多くの人と交流できる仕事だ」「未経験でも仕事ができる」「仕事にやりがいがある」という点でポジティブに考えているが、「給与水準が低め」「体力的にきつい仕事が多い」というネガティブなイメージも上位になっている。

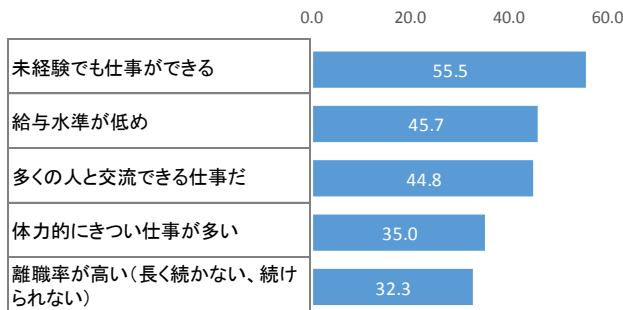
「未経験でも仕事ができる」は正社員も正社員以外でも上位にあがるが、正社員以外の方が割合が高くギャップがもっとも大きい。他にギャップがみられるものには、「離職率が高い（長く続かない、続けられない）」といったネガティブなイメージもあるが、「人から感謝される仕事だ」といったポジティブなイメージもある。いずれも正社員以外の方が割合が高い。

業界イメージ 3

B. 離職者と企業側

B. 離職者の上位5項目

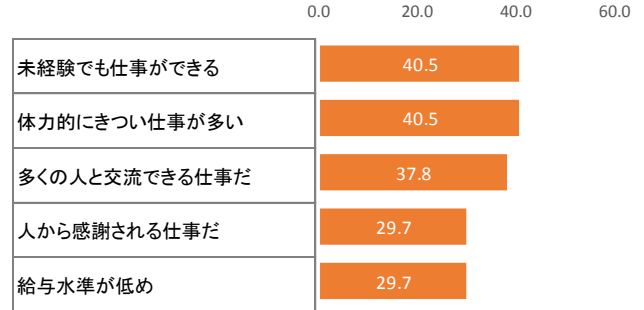
「未経験でも仕事ができる」が55.5%でもっとも高い。「給与水準が低め」とネガティブなイメージもあるが、「多くの人と交流できる仕事だ」とポジティブなイメージもある。



(%, n=337)

企業側の上位5項目

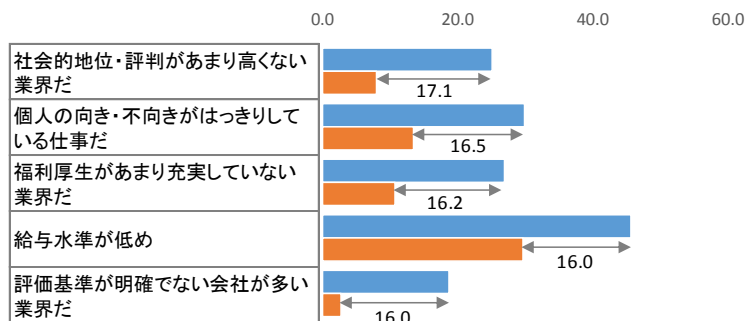
「未経験でも仕事ができる」は離職者と同じでもっとも高い。他にも「体力的にきつい仕事が多い」「多くの人と交流できる仕事だ」「給与水準が低め」は離職者の上位項目と一致している。



(%, n=37)

B. 離職者と企業側のギャップが大きい5項目

いずれも離職者の方があてはまると回答している。「社会的地位・評判があまり高くない業界だ」や「福利厚生があまり充実していない業界だ」など、ネガティブなイメージについてギャップが大きい。

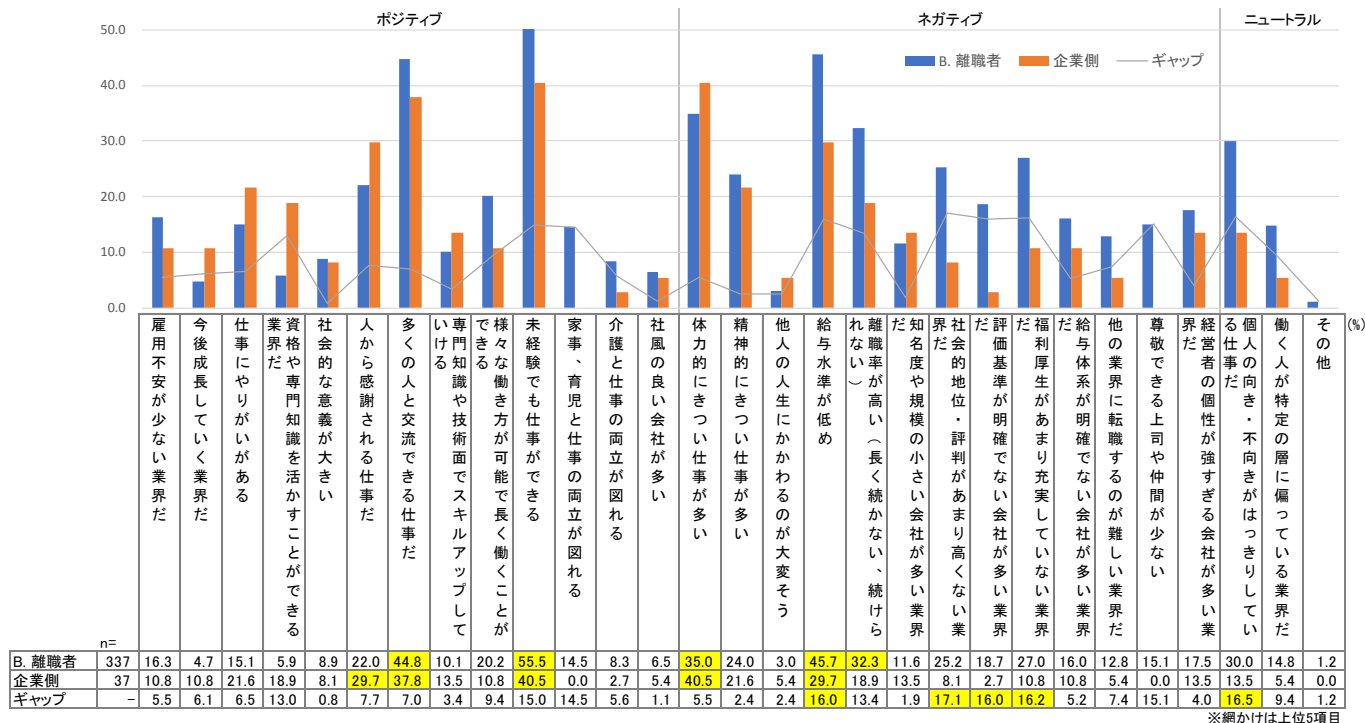


■ B. 離職者 ■ 企業側 (%)

B. 離職者と企業側

【B. 離職者】 Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／飲食サービスの仕事（居酒屋（接客や調理））（MA）

【企業側】 Q. あなたがお勤めの会社や、お勤めの業界のイメージとして、世の中の人や求職者に、どのように思われていると思いますか。あてはまると思われるものをお選びください。（MA）



離職者と企業側に居酒屋のイメージを聞いた。

離職者は「未経験でも仕事ができる」「給与水準が低め」「多くの人と交流できる仕事だ」「体力的にきつい」が上位にあり、現在就業者と共通している。

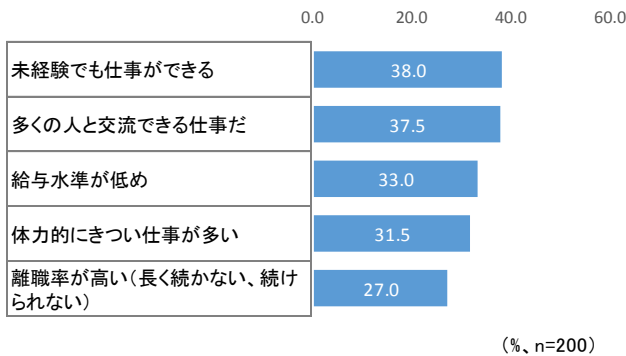
企業側と比較すると、「未経験でも仕事ができる」がもっとも高いことは共通している。ただし、「社会的地位・評判があまり高くない業界だ」「福利厚生があまり充実していない業界だ」「給与水準が低め」「評価基準が明確でない会社が多い業界だ」などネガティブなイメージについて離職者とのギャップが大きい。

業界イメージ 4

C. 意向者とD. 非意向者

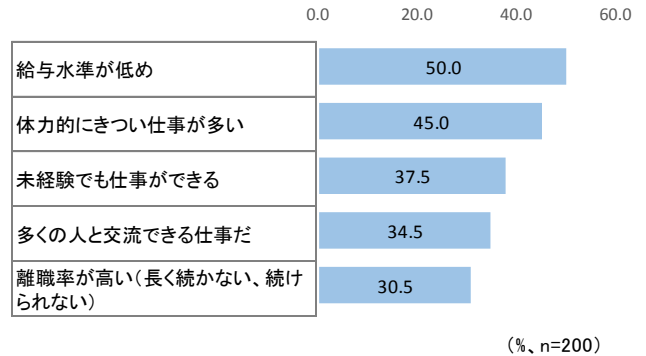
C. 意向者の上位5項目

就業者同様に「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」のポジティブなイメージがある一方で、「給与水準が低め」「体力的にきつい仕事が多い」も上位に挙げられた。



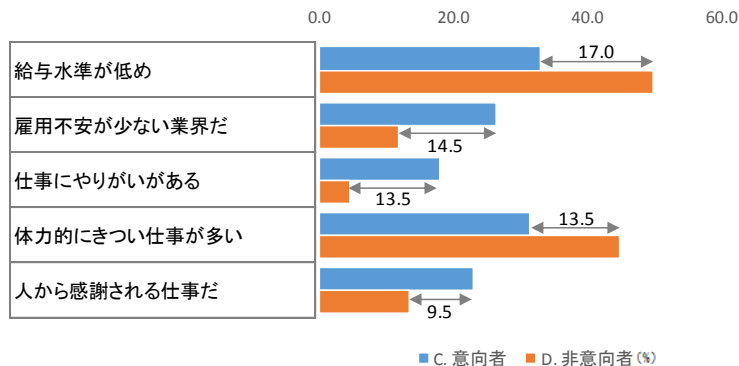
D. 非意向者の上位5項目

「給与水準が低め」が50.0%と最も高い。非意向者の方が「体力的にきつい仕事が多い」などネガティブなイメージの割合は高いが、上位項目は意向者と共通している。



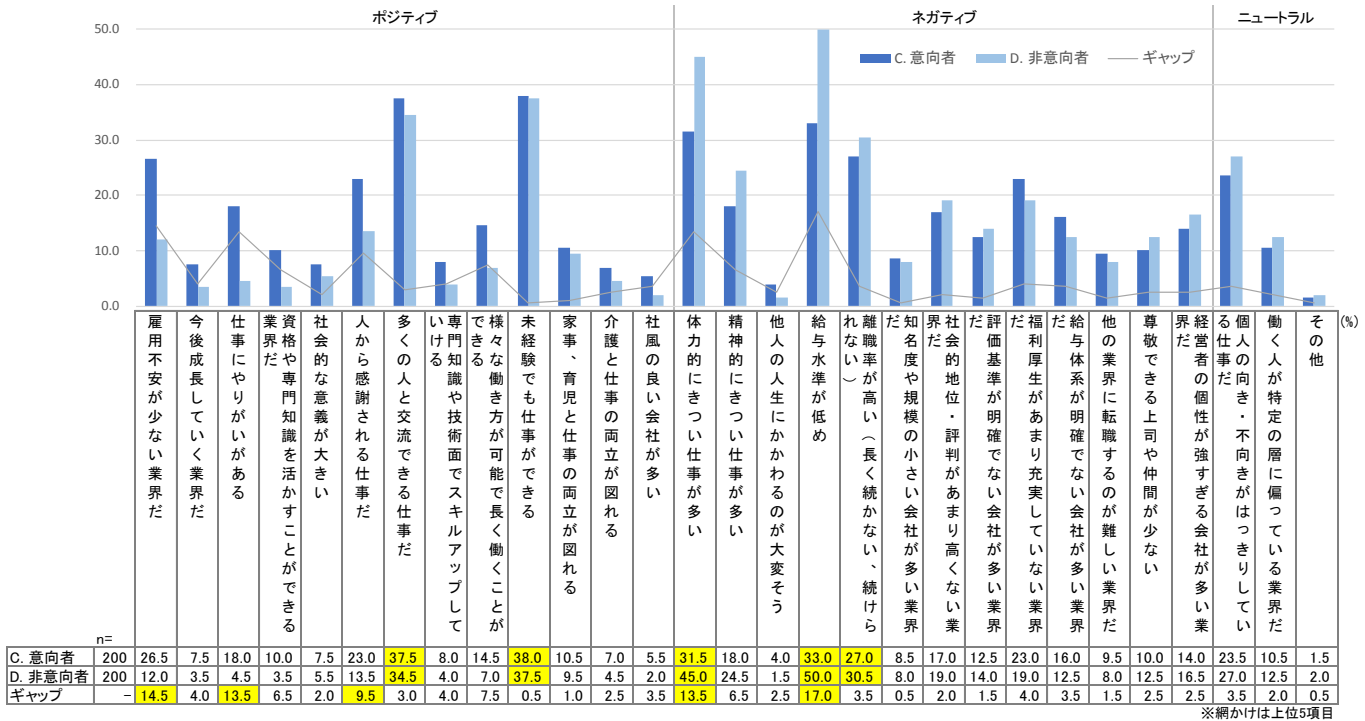
C. 意向者とD. 非意向者のギャップが大きいもの

「給与水準が低め」は意向者でも上位項目だが、非意向者の方が選択した割合は高く、ギャップが大きい。意向者の方がもっているイメージとしては「雇用不安が少ない業界だ」「仕事にやりがいがある」「人から感謝される仕事だ」など、ポジティブなイメージである。



C. 意向者とD. 非意向者

【C. 意向者、D. 非意向者】Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／飲食サービスの仕事（居酒屋（接客や調理））（MA）



意向者と非意向者に、居酒屋のイメージを聞いた。

上位5項目は共通しているが、その中で意向者はポジティブなイメージの方が上位、非意向者はネガティブなイメージの方が上位であった。

意向者は「未経験でも仕事ができる」「多くの人と交流できる仕事だ」などのポジティブなイメージが、「給与水準が低め」などのネガティブなイメージを上回っている。非意向者は「給与水準が低め」「体力的にきつい仕事が多い」などのネガティブなイメージが「未経験でも仕事ができる」などのポジティブなイメージより割合が高い。